

和歌山県白浜町でのクマゼミ（半翅目, セミ科）の初鳴き

The earliest droning of *Cryptotympana facialis* (Hemiptera, Cicadidae) in Shirahama town,
Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

南日本に広分布する我が国最大種のクマゼミ *Cryptotympana facialis*（半翅目, セミ科）は、和歌山県西牟婁郡白浜町では、日本各地でと同様、夏季に蝉しぐれがあちこちで聞けるが、秋になるとどこでもほとんど鳴かなくなる。クマゼミの白浜町での初鳴きは、1999 年には 7 月 4 日と記録され、2001 年と 2002 年では 6 月の中旬頃と半月も早まった（久保田・田名瀬, 2002）。最近だと、2011 年は初鳴きが 6 月 30 日だった（久保田, 2011）。その後の 2012 年にはクマゼミの初出現は 7 月 3 日で、2 個体の雌が京都大学瀬戸臨海実験所構内で採集された。本年 2014 年には、6 月 30 日 8 時 50 分に近畿大学の養殖場近くで、その後は瀬戸臨海実験所構内で同日の 10 時 31 分に、初鳴きが聞けた。これらの 15 年間の記録から（毎年の記録はつけていないが）、白浜町では 6 月中旬から下旬にかけてクマゼミは初鳴きすると言える。

引用文献

- 久保田 信・田名瀬英朋. 2002. 和歌山県白浜町の海岸付近におけるクマゼミの初鳴き. 南紀生物, 44 (2) : 114.
- 久保田 信. 2011. 和歌山県白浜町で 2011 年に初鳴きのクマゼミとニイニイゼミ（カメムシ目 = 半翅目, セミ科）. KINOKUNI, (80) : 29.

（くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）